

プロが選んだ究極の道具 / ブーツ選びは“長さ”が決め手。 / 稲妻フェスWEST開催決定!

ライトニング

# Lightning

2013 Vol.227 3月号 ¥680

第2特集

ハイカット or ローカット?

ブーツ選びは  
“長さ”が決め手。



目利きが  
惚れこんだ  
逸品たち

第1特集

# プロが選んだ 究極の道具。

自転車専門誌の編集長が  
愛用する六角レンチ

インテルの社長が選んだ

次世代型ノートPC

世界のラテアーティストが  
使うドリッパ

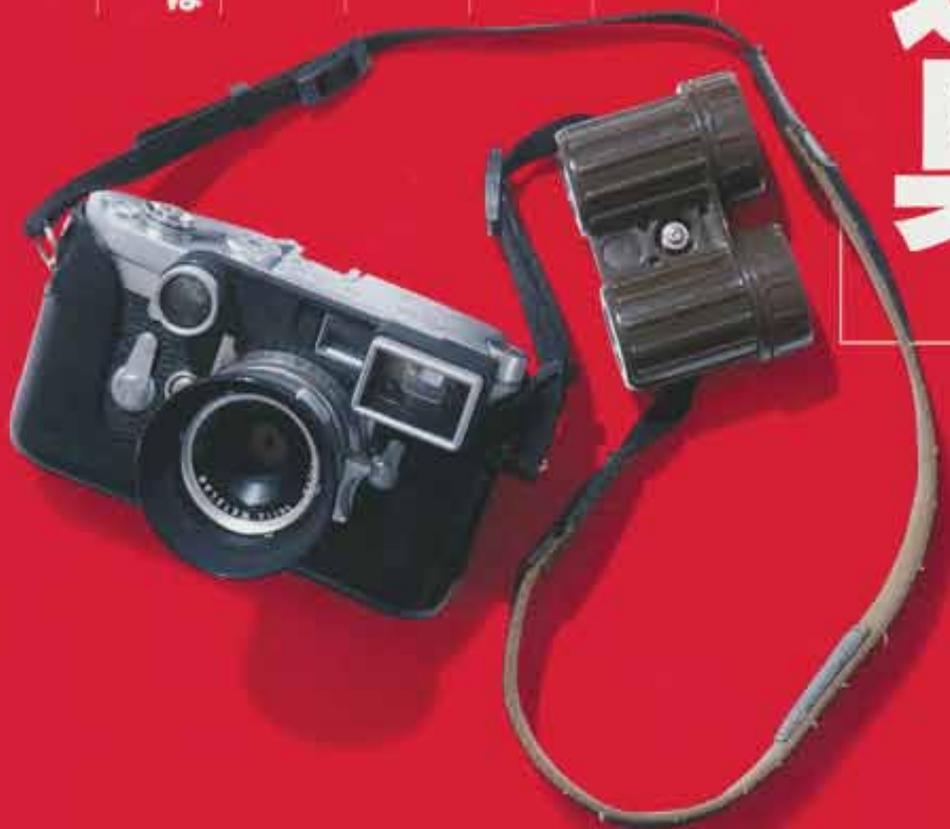
スニーカーマスターが  
惚れたニューバランス

報道カメラマンも

作品撮りではライカM3

気鋭ギタリストの超絶テクは  
7弦から生まれる

.....etc



MASTERPIECE for Professionals

日本の紙と相性が良いのは  
マッキーのサインペン。

誰もが知っているマッキーペンで、下書きもなく描いていくのが、JAY SHOGO氏のスタイル。日本の紙で描く時は、シャープペンよりもマッキーの方が描きやすいそう。こちらは太いタイプだが、細いマッキーペンも愛用している。



MASTERPIECE for Professionals

アメリカで描くときは  
シャープペンの  
マーカー。

1年の半分近くをロサンゼルスの特パンガにあるアトリエで過ごすJAY SHOGO氏が現地で愛用しているのが、シャープペンのマーカー。不思議とアメリカの紙には、シャープペンの方がよいそう。日本では使わないので、米国に大量ストック

『ボクが描く  
ために必要な  
マーカーは  
この2本!』

The professional person

No. 004

アーティスト

JAY SHOGOさん

10代よりファッション業界で活躍し、2005年にハイライトキャバレーをスタート。その後2009年にアイウエアブランドであるペイクを開始。同時期にJAY SHOGOとしてアーティスト活動をスタートさせた。

トータル  
アーティスト





友人からもらった  
イームズの  
スクープチェア。

友人からプレゼントしてもらったというイームズのシェルチェア。スタッキングベースなので、重ねることができ、収納も容易。事務所で使っており、座り心地も気に入っているそう。インテリアのアクセントになっていた



日米で使う  
iPhoneのオリジナルケース。

アメリカと日本を行き来するため、iPhoneは欠かすことのできないツール。割れやすいので、ケースは必須。オリジナルのiPhoneケースは、販売していないので、かなりのレアもの。日本で使うものにも、自身の作品を落とし込んでいるのだ



作業中に穿いている  
1 of Kの  
デニムパンツ。

マイアミで行われたアートのエキシビションにて頂いた1 of Kというニューブランドのデニム。ダブルニーで立体裁断のため、非常に履きやすいそう。膝を立てて絵を描く時もあるので、作業中には欠かせない

常に愛用している  
ベイクの  
サングラス。

2009年にスタートさせたアイウエアブランドであるベイクは、アメリカでも評価を得ている。ニューラインは、生産量を限定せず、様々なブランドとコラボレーションしていくそう。各1万5750円(ベイク TEL03-6416-0668)



新

進気鋭のアーティストとして注目されているJAY SHOGO氏。なんと絵を本格的に描き始めたのは4年前。昨年にはマイアミで開催された国際的なアートバーゼルに招待されるなど、各方面から多大な評価を得ている。その一方で人気ブランド、ハイライトキャパレ

ーやベイクを手掛けるなど、まさにマルチクリエイターと呼ぶに相応しい活躍を見せる。そんな彼の愛用品は実にシンプルだ  
「自分が創作する上で決めていくのが、誰でも買えるもので創るということ。自分の作品は、クオリティにはこだわりますが、普通に売っている紙を使って、マジックで描いていきます。こだわっているのは、日本の紙だとゼブラのマッキー、アメリカの紙だとシャープビーを使うことですね。その国で売られているマジックの方が、馴染みがいいんですよ」  
そう語るSHOGO氏の絵は、マジック1本で描いたとは思えないク



1本にマッキーは数十本ストックしている。細いタイプと太いタイプを描き分けているため、両方とも欠かすことができない

オリテイ。いかにアーティストとして優れているかがわかる。  
「作品には必ずタカラトレジャーというオリジナルキャラクターを使っています。もともとは、アメリカに行った思い出を残すために、絵日記として描き始めたのがきっかけ。そんな矢先に、大切な友人の子供もが亡くなってしまつて……。絵とともに生き続けるように、彼女のタカラという名前を取って、生まれたのがタカラトレジャーなんです。だからラブ、ピース、ハピネスをテーマにしています」  
JAY SHOGO氏は、アメリカと日本を行き来するライフスタイルを送る。そこで愛用しているクルマも実に彼らしいチョイス  
「自分にとって創作活動に必要なのは、旅なんです。大好きなアメリカを自分の作品をプリントしたクルマで走る。そこでいろんな経験をするので、新しい作品への意欲が生まれるんですよ」

JAY SHOGOにとってのキャンパスは様々。



ニューエラのキャップ

ツバの裏にもレッチリとペインティングを施した。当然ハンドペイントなので1点もの。その他自転車のフレームなどにも施している



ナイキのプレイザー

ナイキのプレイザーに、ハンドペイントしたアートワーク。スニーカーのデザインと靴の横図のバランスが素晴らしい仕上がり



アートワーク

今年に入って初めて描いたという最新作。オリジナルキャラクターであるタカラトレジャーがハートに描かれている。3日で完成



トヨタのセコイア

アメリカの移動手段として使っているのが、トヨタのセコイア。このクルマで全米中を旅することで、次の作品への意欲を高めるそう